

雪消えの遅れ深刻、農道除雪などにも支援を

日本共産党市議団が市長に要請書提出

日本共産党上越市議員団（杉本敏宏団長）は14日、木浦市長宛の「春耕期を前にした除雪対策の強化を求める要請書」を提出しました。中村修治市農林水産部長などが対応しました。

今冬は19年ぶりの豪雪でした。上越市内の山間部では、いまだに1メートルを超える積雪となっているところが少なくありません。除雪計画に載っていない市道や農道のなかには、雪が多いただけでなく、樹木が倒れているところもあります。こうした状況を目にして、関係農家からは、「このままでは春耕作業が大幅に遅れてしまう。農協が指導する田植え時期にはとても間に合わない」といった不安の声があがっていました。

要請書の提出にあたって橋爪法一議員は、「現地を見てきたが予想以上にひどい状況となっている。山間部を抱える殆どの区に共通した問題だと思うので、速やかに調査に入ってもらいたい」と訴えました。今回の要請にあたっては、吉川区の関係農家の方からも参加をお願いし、実情を訴えていただきました。同日の午前中に撮ったばかりの現地のデジカメ写真には、農林水産部の幹部も真剣な表情で見入り、調査に乗り出す意向であることを明らかにしました。

同日、県当局も雪消えの遅れを重視し、農道除雪などに対する支援にのりだすことを明らかにしました。今後の動きに注目したいと思います。



この写真は杉本団長が撮影しました

杉本敏宏議員、橋爪法一議員はそれぞれホームページを開設しています。活動日誌も書いています。アドレスは名前で検索できます。

【厚生常任委員会管内視察報告...樋口議員】

4月13日、土橋の「ファミリーヘルプ保育園」、安塚区の「やすづか自由学園」、柿崎区の「くろかわ診療所」など7つの施設を厚生常任委員会で視察してきました。



今春のトキワイカリソウです

印象に残った所の1つは、「やすづか自由学園」です。同学園は9年前、故三浦良久園長をはじめ多くの支援者の協力で全寮制の学園として開学しました。以来36名のこどもが学園を卒業し希望する高校に進学したそうです。いじめ、不登校で悩んでいる子どもの支えは教育行政では限界があり、最後まで対応するには、やはり福祉施策としてとりくまなければならない、と元町長の矢野議員が話していました。

「くろかわ診療所」は近くの柿崎病院が患者数を減らしているのに年々患者数が増えていて、注目されています。「なぜ増えているのか」との質問に所長

常任委員会の視察に参加して...樋口、橋爪議員の報

は、「柿崎病院は医者が毎年変わるので患者との密着度が薄いためだろう」と説明されていました。柿崎病院の存続、改革を考える時のポイントの1つだと思いました。

【文教経済常任委員会管内視察報告...橋爪議員】

4月18、19日と11施設を見て回りました。清里区の「星のふるさと館」、三和区の富永邸(旧三和村の指定文化財)などは新市の宝だと思いました。おおいに活用して地域づくりなどに生かしてほしいものです。

一方、体験交流を目的とする施設(ほとんどは第三セクターなどが経営)の中には競合するものも多く、今後のあり方について十分検討しなければいけないと感じました。

日本共産党上越市議団ニュース

8 2005年4月24日

| | | | |
|------|------|----------|----------|
| 連絡先 | 杉本敏宏 | 524-3787 | (東本町5) |
| | 樋口良子 | 544-6802 | (中門前3) |
| | 橋爪法一 | 548-3628 | (吉川区代石) |
| 事務局長 | 上野公悦 | 530-2203 | (頸城区中柳町) |